

## (仮称) 第二次小平市教育振興基本計画の骨子 (案)

### ～目指す人間像・基本理念・目標～

#### ○小平市の教育が「目指す人間像」(普遍的なもの)

社会的に自立し、地域・社会に貢献しながら、他者と共生する人

- ・ 自立：自分で考え、判断し、行動できる
- ・ 共生：他者を認め、良好な関係を築く
- ・ 貢献：地域や社会に愛着を持ち、自分にできることを考える

#### ○「目指す人間像」を実現するための計画の基本理念

##### 【第1回小平市教育振興基本計画検討委員会の委員意見より】

##### 《教育に対するニーズの多様化》

- ・ マイノリティの子どもたちに対する心理的安全性の確保や支援も必要。
- ・ 生き辛さを抱えている子どもたちに多様性と柔軟性をもって対応していただきたい。

##### 《個別最適な学びと協働的な学び》

- ・ 自分の良さや可能性を見つけるといった自己肯定感、他者を価値ある存在として認めて多様な人とともに学ぶといった教育が重要。
- ・ 自ら学ぶためには、コミュニケーションが重要になってくる。
- ・ 地域とのつながりを大切にしたい体験は、学童期から青年期、成人期と生涯にわたって小平の教育が脈々と受け継がれていくことにつながる。
- ・ 自分の受けた愛情を次の世代に繋げるといった教育の好循環サイクルが生まれることを期待したい。
- ・ 一人ひとりの子どもたちの良さや可能性を最大限に引き出すためには教員の多忙感があってはならない。
- ・ 個別最適化を行うにあたっては、両輪として協働的な学びが必要。

##### 《新たな時代の教育》

- ・ これからの時代には欠かせないキャリア教育の一環として、タブレットを用いた授業がコロナ禍で加速した。それにより将来の職業の選択肢も増えていくのではないかな。
- ・ デジタルの部分と伝統文化の部分をバランス良く取り入れてほしい。

##### 《地域の教育力の活用》

- ・ 地域が学校とともに活動することによって、先生方からだけでは得られないような学びがある。
- ・ 子どもたちに関わる人たちが協力し合いながら、子どもたちを地域・社会全体で見守るという今日まで当たり前のように続けられてきたことが、これからもより求められる。
- ・ 自分も共に学び共に成長していくという観点は重要。
- ・ 大人も孤立しているのではないかなという印象がある。そういった方々とともに自己有用感を高められるような学校と地域、あるいは地域間の関わりがこれからの教育には必要。

#### 意見を集約すると

##### ・ 計画の基本理念

「学び・体験を通じて お互いに認め合い 励まし合い 共に生きるまち小平」

##### ・ 計画の目標

- 1 自分を認め 他者を認め 一人一人の子どもたちの良さや可能性を最大限に引き出します
- 2 学校・家庭・地域がつながり 持続可能な教育環境をつくります
- 3 一生涯にわたって学び受け継がれる小平の教育の好循環をつくります